

慶南科学技術大学への長期留学を終えて

2020 年度長期留学最終報告書

韓国 慶南科学技術大学校留学

高知県立大学社会福祉学部社会福祉学科

165043 竹村彩

・留学に行こうと思ったきっかけ

私は 4 回生の後期から、韓国の慶南科学技術大学に長期留学させていただきました。中学生の時に韓国の言葉に興味を持ち、そこから独学で韓国語を勉強していましたが、いつか韓国に留学をして、自分から話しかけなければならない環境に身を置き、語学力を伸ばしたいと思うようになりました。さらに、自分の常識とは違う文化の中で、人としても成長したいと思っていました。そのため、韓国留学の募集があれば必ず参加したいと考えていました。夏に韓国短期留学の募集がありましたが、実習の関係で参加できませんでした。今回、長期留学の案内が来た時は、この機会を逃すと留学するという夢を叶えることができなくなると思い、行くことを決心しました。

・生活について

寮の部屋の中にはトイレとシャワーが 2 つずつあり、5 人で一緒に使用しました。キッチンや冷蔵庫は無かったので、ご飯は食べに行ったり、スーパーで買ったりしていました。寮の近くにコンビニがあったので、よく利用していました。部屋には室長の学生がいて、何かを説明するときは日本語を交えて説明してくれて、とても嬉しかったです。寮には Wi-Fi もあり、過ごしやすい環境でした。水曜日は部屋掃除があり、夜 12 時の点呼の際に担当した場所を確認され、汚れていると、もう一度やり直さないといけなかったのが、少し大変でした。洗濯は寮の地下 2 階で行い、1 回 50 円なので 2 日に 1 回のペースで洗濯をしていました。

・韓国で生活をして驚いたこと

私が韓国に来て驚いたことは、公共交通の安さと、スピードの速さです。バスは 125 円で交通カードで払えば、30 分以内に 2 回乗り換えが無料でした。タクシーも日本に比べると、とても安かったです。バスは乗車すると座る間もなく、ものすごいスピードで発進するので、最初はとても怖かったです。「バスが停車するまで席を立たないで下さい」と呼びかけている日本との違いに、カルチャーショックを受けました。しかし、何度も乗ると慣れていき、早く目的地に着くことができるため、バスはよく利用しました。タクシーもスピードが速く、「韓国のタクシー運転手は自分のことを王様だと思っている」と聞きました。60 キロの道路を 100 キロで走ったり、クラクションをたくさん鳴らすので最初は怒っているのかと思いました。韓国では絶対に運転できないと感じました。

・韓国語の勉強

学校では韓国語の授業がないので、結婚をして韓国に来た人たちを対象に韓国語を教えている多文化センターという所に週 2 回通い、フィリピンやベトナムの方と一緒に勉強をしました。結婚をしている人を対象としている授業なので、文法の勉強に加え、銀行に行った時に使う用語や、お葬式でのマナーなど実用的な内容も多かったです。一度、自分の国の料理を作ってきている人がいて、授業を止めて先生も一緒に全員で食べたことがあり、韓国以外の国の方とも交流ができて楽しかったです。

金曜は学校の授業が無い日でしたが、日本語を教えている先生が特別に 14 時から 16 時まで韓国語を教えてくださいました。さらに、その先生が 19 時から 21 時まで一般人を対象とした日本語の授業を学校で行っていたので、参加させていただきました。最初は、韓国語を話せなかったので、色々な先生が韓国語を学べる所を探してくれ、授業を工夫してくれて、とてもありがたかったです。

・一週間のスケジュール、テスト期間について

月曜は 13 時から 16 時まで多文化センターに行き、17 時からは学校で多文化社会福祉論の授業をとりました。火曜は 9 時半から 11 時まで多文化社会福祉論の授業を聞き、13 時から 16 時まで多文化センターで勉強をしました。水曜は 9 時から 12 時まで青少年福祉論、14 時から 16 時まで中級日本語の授業がありました。木曜は 10 時から 13 時まで青少年児童方法論、15 時から 17 時まで大学英語という授業をとっていました。

中級日本語の授業は授業内容も理解出来て、韓国語の勉強にもなったので履修して良かったと思いました。また、大学英語の先生も日本語を話すことができ、授業も英語と韓国語と日本語で説明してくれてありがたかったです。

社会福祉の専門的な授業は、韓国人でも難しい内容を学ぶ時もあるため、理解ができず、つらい時もありました。毎回予習復習を行い、少しでも授業を理解できるようになりたいと思い勉強をしました。最初は授業中にずっと翻訳機を使っていましたが、授業を受けるにつれて良く出てくる単語は聞き取れるようになり嬉しかったです。

韓国では一つの学期に中間テストと期末テストがあり、私の学部はレポートやグループ発表もあるため、とても大変でした。テストは韓国語で、専門的な単語などを理解していないと問題を解くことができないので、毎日寮や学校の図書館で勉強をしました。テスト期間になると夜遅くまで図書館には生徒がたくさんいて、競争社会と言われている韓国の学生は日本の受験生みたいだと感じました。社会福祉のテストは一问一答形式ではなく、概念などを文章で答えないといけない問いが多かったです。テスト勉強は文字の意味を調べながら理解して覚える必要があり時間がかかってしまうため、復習を毎日することが大切だと思いました。

・コリアドラマアワード、晋州市の灯ろう祭り、文化祭

10月には慶南科学技術大学校がある晋州市で大きな祭りが行われました。祭りの時期に合わせて、コリアドラマアワードが学校から歩いて約10分の場所で行われていました。コリアドラマアワードには外国人という理由で招待していただきました。韓国の有名な俳優や歌手などを近くで見ることができて、とても感動しました。韓国の有名なアイドルのステージもあり、テレビで見ると実際に聞くのは迫力が全く違い、とても楽しく思い出に残る時間でした。

晋州市の灯ろう祭りの開会式も招待してもらい、花火を近くで見ることができました。晋州市には南江という大きな川があり、毎年10月、動物の形をした大きな灯ろうなどが川の上に浮かべられ、晋州城という大きな城もイルミネーションされます。夜に行くと晋州城の光と、南江の灯ろうの光がとてもキレイで、たくさん人が来ていました。

テスト期間中に学校の文化祭もありました。文化祭の夜には、韓国で人気のある歌手のコンサートが行われ、最後に花火もあがり、スケールがすごかったです。10月はテスト期間で大変でしたが、コリアドラマアワードや灯ろう祭り、文化祭がありとても充実して楽しかったです。

・ボランティア活動について

ボランティアには2回参加する機会がありました。1回目は小学生の見守りを行いました。その子たちと、交通公園や動物園と一緒に行きました。集合場所まで遠かったので同じ学部の子が、寮の近くのバス停から一緒に行ってくれました。バスの中でもたくさん話しかけてくれて、とても嬉しかったです。

公園では宝探しをしました。宝探しのルールを1回で理解出来ず、ボランティアの中に日本語を話せる子がいて説明してもらいました。韓国人はアニメなどの影響で日本語が上手い人が多く驚きました。

宝探しの後に動物園にも行きました。韓国に来る前から晋州市には動物園があると聞いていたので、行きたいと思っていました。入場料が大人1000ウォン(約100円)と安く、驚きました。大きな熊2匹にトラもいて、本当に1000ウォンで良いのかと思うほどでした。

2回目のボランティアは、パンを作って、一人暮らしの高齢者などに配るという内容でした。しかし、私は午後から韓国語の授業があったので、午前のパン作りだけ参加しました。自分で作ったパンを直接配れなかったのが心残りでしたが、一人暮らしで寂しい思いをしている人に喜んでもらえる、良い活動だと思いました。

学生は20人くらい参加していました。4人一組で作りましたが、同じグループに社会福祉学部の友達もいて、説明の中で理解できなかったことは分かりやすく教えてくれて、とても楽しく作業をすることができました。お昼ご飯はボランティアに参加している全員で、カルビタンを食べにいきました。日本に関心のある子がいて、たくさん話をしました。高知に行きたいと思っているらしく、ひろめ市場や坂本龍馬の事を知っていて、とても驚きました。

・文化体験

12月には文化体験がありました。全州にある韓国式の伝統家屋がたくさんある地域に行きました。韓国の時代劇などでは、韓国の伝統衣装である韓服を着ている人がたくさん登場し、一度は着てみたいと思っていたので、今回着る機会がありとても嬉しかったです。観光地なので韓服をレンタルして、韓服を着て観光地を歩くことができました。色などは自分で選ぶことができ、きれいな色ばかりでとても迷いました。その他にキムチ作りも体験させていただき、韓国の文化に触れる良い経験ができました。

・日本でのオンライン授業について

3月からはコロナウイルスの影響でオンラインでの授業になりました。5科目履修し、毎週、学校のHPに授業がアップされるので、それを見ながら勉強をしていました。現代人の生活と倫理という科目では、韓国の若者の自殺問題についても取り上げられていました。私は卒業論文で韓国の若者問題について研究しているのでとても参考になり面白かったです。

中間試験と期末試験はレポート提出が必要な科目があり、内容がとても難しいので大変でした。人権についてレポート課題が出た際には、日本の事例を含めて書きました。試験のある科目に対面で行う試験があったので、友達が先生に、私が日本にいることを説明してくれて、メールで行うことになりました。問題が送られてきて、試験時間内に返信する形式でしたが、日本人だということを考慮してくれ、他の生徒より10分長く試験時間を設定してくれました。

・最後に

最初は韓国語があまりできず、韓国人と同じ授業について行けるのか、とても不安でした。しかし、友達や先生が優しく接してくださり、サポートしてくださったおかげで、楽しく生活することができました。韓国には日本に関心のある学生がたくさんいて、その学生達と一緒にご飯やコインカラオケに行き、コミュニケーションをとることが、とても新鮮で楽しかったです。韓国語がすぐに出てこなくて、言いたいことが言えない時もありましたが、みんなと普通にコミュニケーションを取れるようになりたいと思い、勉強を頑張ることができました。

春からの学期はコロナウイルスの影響で韓国に行けずショックでした。しかし、韓国の同じ学部の友達や先生とは、今でも頻繁に連絡を取り合い、近況などを報告しています。授業のことなど色々サポートしてもらい、とても感謝しています。

夢だった長期留学に参加し、辛いこともたくさんありましたが、異国の地で、様々な人と関わる中で、人として成長できたと思います。今回長期留学に行く機会をくださり、サポートしてくださった方々には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

